

議長あいさつ



沼津市議会議長
高橋 達也

沼津市議会100周年記念誌刊行にあたって

沼津市議会が1923(大正12)年9月20日に初めて「沼津市會」を開いてから100周年を迎えることができました。これまでの先達とお支えいただいたすべての皆様に心より感謝を申し上げます。そして、この記念すべき節目に「沼津市議会100周年記念誌」を刊行することができ、大変光栄に存じます。

私たち議会は、先輩諸氏から脈々と受け継がれる伝統と歴史の中で、二元代表制の一翼を担う行政のチェック機関としての役割を果たし、市民の代表として市政に携わってきております。

この100年の歴史を顧みますと、時代とともに多くの課題、困難に直面しながらも、常に市民生活の利便性と福祉の向上のため、ひいては沼津市の発展のため、不断の努力と熱意をもって議論と研鑽を重ねてきた議会の姿がありました。その精神が今日の私たちに受け継がれ、市勢発展の礎となっております。次の100年に向かう今、議会の代表として心から敬意を表すところでございます。

この記念誌が、これまで市議会が歩んできた道のりを振り返りつつ、次代に向けて更なる飛躍をお約束する嚆矢となれば幸いです。

昔も今も、議会は市民の皆様の声を代弁し続けております。また、議会は市民が望む「沼津市のカタチ」を具現化する最大の場であります。私たちは今後も変わらぬ信念で、議会の改革・活性化に努め、本市の魅力向上を追求し、市民の皆様への負託に応える議会を目指して参ります。

結びにあたり、本記念誌刊行に際して、ご尽力をいただきました関係各位に深く感謝申し上げます。市民の皆様と共に100年の歴史を称え、夢と希望があふれる未来に向けて本市議会が益々躍動することを祈念し、沼津市議会100周年記念誌刊行のごあいさつといたします。

市長あいさつ



沼津市長
頼重 秀一

刊行を祝して

沼津市議会が、発足から100周年という大きな節目を迎え、この度、沼津市議会100周年記念誌が刊行されますことに対し、心よりお祝いを申し上げます。市議会の歩んできた長い歴史を振り返る記念誌が刊行されることは、市民の皆様が議会に対する理解を更に深め、関心を高める上で誠に意義深いものであり、元市議会議員の私としましても、感慨はひとしおであります。

本市は、大正12年に、県内では静岡、浜松に次いで3番目の市として誕生し、その後、先人たちのたゆまぬ努力により、県東部地域を牽引する広域拠点都市として発展して参りました。今年、100周年という歴史に刻まれる節目の年を迎えることができましたのも、歴代の市議会議員の皆様のご理解、ご支援の賜物であり、改めて深く敬意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。

この市制施行100周年を契機とし、本市の目指すまちの姿である「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」の実現に向けて、誰もがまちに誇りを持ち、未来の沼津に「夢」や「希望」を抱くことのできる、魅力あふれるまちづくりを、一層進めて参る所存であります。議員各位におかれましては、本市の更なる発展のため、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。